

流行注意

ノロウイルスの予防徹底を

木暮院長の患者サポート⑬

感染性胃腸炎のひとつで、下痢や嘔吐を引き起こすノロウイルス。国立感染症研究所によると今年には「新型ノロウイルス」が主流になる見通しで、人の体内に免疫がなく、大流行する恐れがあるという。ノロウイルスの予防策について消化器専門医の木暮悦子院長（木暮クリニック）に聞いた。

「症状は、これまでと同じ」
と木暮院長。感染経路は、感染者の便や嘔吐物に
くつき気、嘔吐、下痢、腹痛
37度台の発熱が見られま
触れた手でものを食べる



木暮悦子院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと内視鏡技術を学び、平成22年満口に開業した。

- 日本消化器病学会専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本消化器内視鏡学会指導医

（接触感染）、嘔吐物などの飛沫を吸い込む（飛沫感染）、ウイルスに汚染された二枚貝を十分に加熱しないで食べるなどがある。

ノロウイルスには抗ウイルス剤はなく、予防が重要となる。木暮院長は「外出時のマスク着用、石鹸による手洗いが予防策となります。特に手洗いは、排便後、調理前、食事前は徹底しましょう」と話す。また、便や嘔吐物を処理する時は、使い捨て手袋やマスクを着用。ウイルスの殺菌には次亜塩素酸ナトリウムを含む

塩素系漂白剤を使用する。

「症状は2日ほどで治まりますが、乳幼児やご高齢の方は脱水症状に注意しましょう。脱水症状がひどい時は、お早めに医療機関を受診して下さい」と話す。

木暮クリニック

胃腸内科 消化器内科 内科 胃・大腸内視鏡

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	休
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
15:30~18:00	●	●	●	●	●	●	●	●

検査は平日・土曜に行っています

休診日
木曜・日曜・祝日

TEL.044-870-7710

http://www.kogure_clinic.jp



〒113-0021 川崎市高津区下作部2-4-3
道のロメディカルモール3階

